

啓北ネット通信

平成28年11月22日 NO. 274

啓北小学校区地域ネットワーク委員会発行



外国語活動のサポーター(6年生)



11月9日(水)、6年生の外国語活動の授業に、5名のサポーターさんが登場しました。

この日は自分が行きたい国について調べたことを、英語を使って説明するという活動でした。自分の英語が上手くボランティアさんに伝わるように、児童は事前にメモを作成していました。



左より中渡氏、瀬古氏、目崎氏、畔津氏、小和田氏

ラーニングでは担任を加えて6名が待ち構えているので、長く並ばなくてもすぐ順番が回ってきます。相手をするボランティアさん達は、自信なげな子ども達を励ましながら、じっくりと相手をしてくださいました。少しでも多く英語を発する機会をもたせたいという、指導者の芦澤教諭の願いを叶える授業をなりました。英語のボランティアさん達も昨年度からお願いしていて、子ども達にはすでに顔なじみですね。12月には、5年生での授業が予定されています。お忙しいとは存じますが、今後どうぞよろしくお願いいたします。

絵手紙のサポーター(2年生)



毎年、この時期にご来校いただき、絵手紙を教えてくださいたる鈴木ヒサツ先生です。今年度のトップバッターは2年生でした。絵手紙作りに入る前には、必ず「ヒサツ先生のお話」の時間があります。2年生に向けては、交通安全のお話でした。実際に会った話をもとに、登下校中の交通安全に気を付けなければならないことと、命の大切さについて教えていただきました。

2年生の題材は『なつてみたい動物』です。学芸会の作品展で、すでに動物名を決めていたので、子ども達はすぐに作品にとりかかりました。「かわいいわね。」

「いい色使いね。」「本当に飛んでいるみたいね。」等々。ヒサツ先生からお褒めの言葉をたくさんいただき、子ども達は満足！ヒサツ先生の言葉はまさに魔法の言葉ですね。実物投影機で大きく映し出すとみんなからも「おおっ！」「かっこいい！」等と声があがっていました。わずか1時間でしたが、世界にたった一つの名作が仕上がりました。全校制作として玄関ロビーに掲示されるのをお楽しみに！！

出来上がった作品を大型テレビで鑑賞

